

リボン結びの基本

<蝶結び>

最も一般的でよく使われている結び方ですが、リボンの幅と輪と足のバランスをうまくとらないと変なものになります。

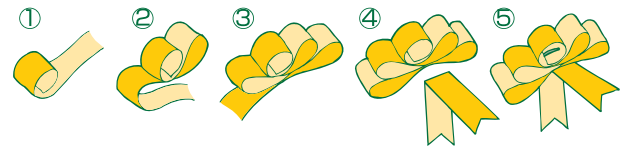
- ①リボンが1本は上の方にくるように、もう1本は左の手前にくるように結んでください。
- ②右上のリボンをとり、輪を作ります。
- ③左手前のリボンで②の輪にかぶせてください。
- ④リボンの輪のもう一方を通して、しっかりと結びます。
- ⑤全体の形を整えてから、足の部分をきれいにカットしてください。



<折り返しボウ>

ループを一段や三段と変えたり、足の形をいろいろ変化させる応用範囲の広い結び方です。

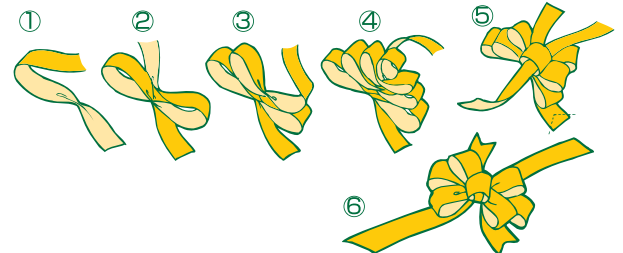
- ①中心になる輪の部分を作ってください。
- ②左右に、同じ大きさになるようにループを作っていきます。
- ③二段目のループは一段目のものより大きくして同じように重ねていきます。
- ④足の部分のリボンを別に作ります。
- ⑤全体のバランスを整えてから、真ん中をホッチキスで止めます。



<コサージュボウ>

少しテクニックがいますが、慣れると、色を組み合わせたりして変化のあるリボンが楽しめます。ねじり目をしっかりと押さえながら作り、全体の形を整えてからかけてあるリボンに結びつけてください。

- ①リボンを半回転ねじり、一段目のループを取ります。
- ②ねじり目を指で押さえながら、同じ大きさのループをもう一方に作ります。
- ③二段目のループは少し小さめに、左右に作ります。
- ④三段目のループも同じように重ねたら、真ん中にループをひとつ作って、リボンを切ります。
- ⑤最後のループの中にリボンを通して、裏側で結んでください。そしてリボンの端をきれいに形を取るようにつまんでカットします。
- ⑥左右のループはふんわりと形よく見えるように整えてください。



ここがポイント!

結婚記念日の名前を知っていますか。

1年目	紙婚式	35年目	翡翠・珊瑚婚式
2年目	綿婚式	40年目	ルビー婚式
3年目	革婚式	45年目	サファイア婚式
4年目	書籍婚式	50年目	金婚式
5年目	木婚式	55年目	エメラルド婚式
6年目	鉄婚式	60年目	ダイヤモンド婚式
7年目	銅婚式	75年目	ダイヤモンド婚式
8年目	電気器具婚式		
9年目	陶器婚式		
10年目	錫・アルミニウム婚式		
11年目	鋼婚式		
12年目	絹・麻婚式		
13年目	レース婚式		
14年目	象牙婚式		
15年目	水晶婚式		
20年目	磁器婚式		
25年目	銀婚式		
30年目	真珠婚式		



サービスのご案内



●クレジットもご利用になれます。



制作発行 / 株式会社セキチュー 販売促進課
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町4531-1

TEL.027-345-1111(大代表)

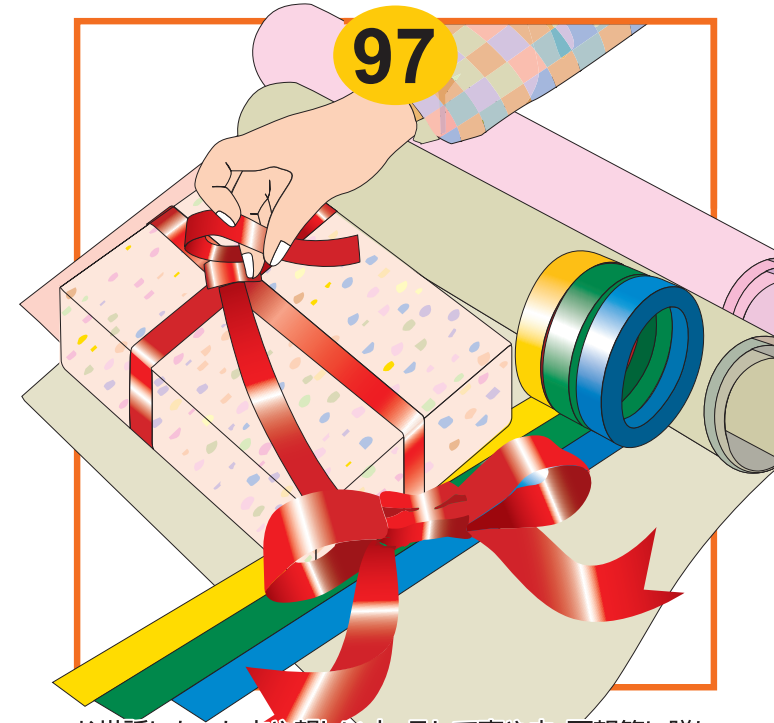
©無断転載は禁止します

ラッピング・リボンの基本

自分でやってみよう!

セキチュー
How To D.I.Y

97



お世話になった方や親しい人、そして妻や夫、両親等に贈り物をするときは、ラッピングが重要になってきます。贈り物が立派でもラッピングがまずいと、せっかくの贈り物が興ざめになってしまいます。お店できれいに包んでもらえればいいのですが、自分で心をこめてラッピングして、リボンをかけると、贈る気持ちがさらに高まり、いただいた方もその熱意に応えてくれるのではないのでしょうか。ラッピングとリボンのかけ方の基本を紹介しますので、基本を覚えた後は自分で工夫してオリジナリティあふれるラッピングで、贈られた方に喜んでもらえるものにしましょう。

Do it Yourself & Save

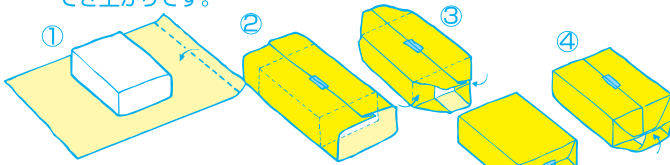
ラッピングの基本

<合わせ包み>

必要な紙の大きさ—縦:(縦の長さ+厚さ)×約1.5倍
横:横一周の長さ+のりしろ約1~2cm

下のスクエア包みと同じく、もっとも基本的な包み方で、キャラメル包みともいいます。

- ①包装紙の右側を裏面に折っておき、品物は裏向きにして真ん中に置きます。
- ②真ん中で紙がたるまないように折り、合わせてテープで止めます。
- ③上と下の包装紙を品物の面に沿って折りこんでください。
- ④折り目をしっかりとつけてから曲がらないように気をつけて止め、裏返してでき上がりです。

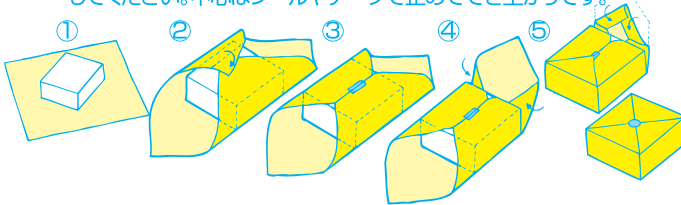


<スクエア包み>

必要な紙の大きさ—縦:(縦の長さ+厚さ)×約1.5倍
横:横一周の長さ+のりしろ約1~2cm

合わせ包みの品物を斜めにして包むやり方です。

- ①正方形の包装紙の真ん中に品物を置きます。
- ②左右から包装紙がたるまないように折って、合わせます。
- ③品物の真ん中で合わせた部分の片側を内側に折り、テープで止めます。
- ④上と下の側面を立ち上げらせて折ります。
- ⑤包装紙の端を内側に折りこみ、合わせた部分の端が真ん中にくるようにしてください。中心はシールやテープで止めてでき上がりです。

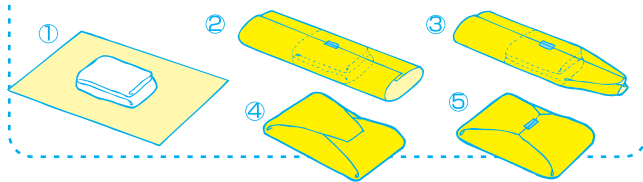


<たとう包み>

必要な紙の大きさ—縦:縦の長さ×約2倍+厚さ×約2倍+のりしろ(折りしろ)約2~3cm
横:横の長さ×約2倍+厚さ×約2倍+のりしろ約1cm

大きめの紙で、裏返さずに包むやり方です。形のとりにくいものや複数ものをしっかりと、体裁よく包む方法です。

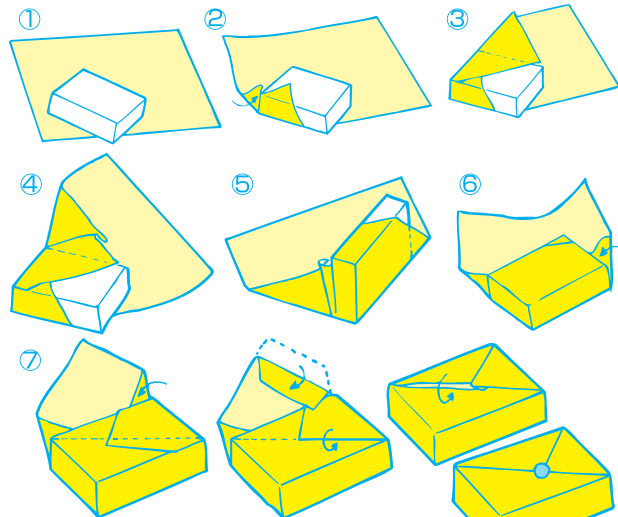
- ①包装紙の真ん中に包む品物を置きます。
- ②包装紙を合わせて、テープで止めておきます。
- ③輪になっている部分の両端を内側に入れこみ、折り目をつけてください。
- ④形がくずれないように気をつけながら真ん中で合わせてください。
- ⑤合わせた部分を折り、シールかテープで止めてでき上がりです。



<斜め包み>

必要な紙の大きさ—縦:縦の長さ×約2.5倍 横:横の長さ×約2倍
スクエア包みの変形で、デパートなどでは一般的に用いられているやり方で、このやり方が分かればいろいろ応用できます。紙がたるまないように包み、最後は折りこむようにするのがコツです。

- ①正方形の包装紙を準備して、包装紙の対角線を目安に、右の手前に品物を置きます。
- ②手前の包装紙を品物にかぶせてから、左下の角に沿って包んでいきます。品物がずれないように気をつけましょう。
- ③品物の線に沿ってしっかりと包装紙に折り目をつけておきます。
- ④同じく左前方の角に沿って折り目をつけておきます。
- ⑤品物を持ち上げ、包装紙がずれないようにしながら半回転させます。
- ⑥右側の角に沿って包装紙を入れこみます。
- ⑦かぶせた包装紙は点線の位置で内側に折ってください。(最後の包装紙の端を点線の位置に合わせて内側に折ってかぶせます。)包装紙の端をはさみこむか、線が揃うように重ねてください。合わせ目にテープやシールを貼ってでき上がりです。

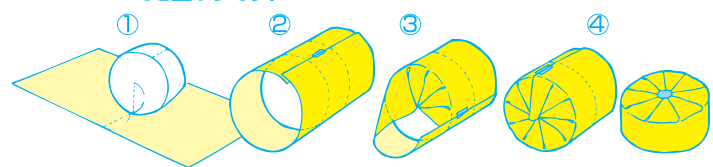


<円筒包み>

必要な紙の大きさ—縦:縦の長さ+円の直径—約1cm
横:横一周分+のりしろ約1cm

筒物を包むときの基本的な形です。

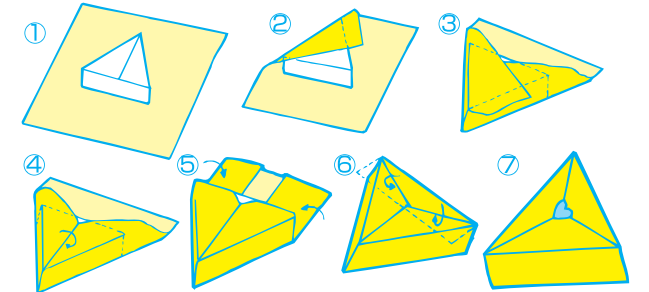
- ①筒は包装紙の真ん中に置きます。
- ②ゆるまないように包装紙を巻いていき、テープで止めます。
- ③合わせた包装紙の内側から中心に向けて等間隔に折り目をつけます。
- ④中心部をシールやテープで止めてください。もう片方も同じようにしてでき上がりです。



<三角包み>

必要な紙の大きさ—縦:垂直線の長さ×約2倍+厚さ×約2倍+約2cmの正方形包装紙を大きすぎないようにして、余った包装紙は内側にしっかりと折りこんでおきましょう。

- ①包装紙の真ん中に品物を置きます。
- ②左上の方から包み始め、三角形の頂点部分の厚みに沿って、包装紙の折り目をつけておきます。
- ③三角形全体を半回転させてから、もう片方の面を包みます。
- ④余っている包装紙をしっかりと折りこみます。
- ⑤残っている面の両端を包んでください。
- ⑥上に折り上げ、真ん中の折り線に合わせて包装紙の端を折りこみます。
- ⑦真ん中に折り線が集まるようにして、シールかテープで止めてください。



<ビン合わせ包み>

必要な紙の大きさ—縦:ビンの長さ+円の半径—約0.5cm+折りしろ約3~5cm 横:ビン底一周分+のりしろ約1cm
ワインなどのビンを含むときの基本の形です。底の部分の折りタックを平均にして、厚みが片寄らないようにするのがコツです。首の部分はまとめ方に变化をつけると、バリエーションが楽しめます。

- ①ビンの底の部分の位置に注意して置きます。
- ②ビンの丸みに沿って包装紙をかぶせ、底の部分の包んでいきます。
- ③3回ほど底部分を折りこみながら包みこみ、余った部分はボトルに巻きます。
- ④合わせ目部分を折り、テープで止めます。
- ⑤両端よりボトルの肩の形に沿って、包装紙を内側に入れこみます。
- ⑥上端の部分は三角になるように、裏面に折りこみます。
- ⑦後方に折り、シールかテープで止めてでき上がりです。

